Ikiiki Maebashi Jin
いきいき まえばしじん

まちなかの学生が新風を起こす

シェアフラット馬場川ハウス長
渡邊　圭亮さん・22歳
千代田町二丁目

空き店舗を改装して学生向けのシェアハウスにした「シェアフラット馬場川」。ここはまちなかににぎわいを創出するため、市が工事費などの一部を補助。月10時間以上のまちづくり活動をすると、家賃の補助*が受けられるというユニークな制度もある。ここでハウス長をしている渡邊さん。住もうと思ったのは、前橋工科大で建築を専攻していたことがきっかけだ。

「ここは、大学の教授や先輩が設計などに携わっていた建物なんです。そんな場所に実際に住むことができて、とても嬉しく思います」

ハウス長には、自分から名乗りを上げたという。

「最初のハウス長としてイベントなどを計画したいと思ったんです。また、それを後に続く人たちに受け継いでいきたいとも思いました」

以前は普通のアパートに住んでいた。しかし、ここには全く違うよさがあるという。

「共有スペースがあり、帰ってきたときに誰かがいるのでほっとしますね。周りの商店主さんたちも、気軽に声を掛けてくれます。まちなかを散策して新しい発見をするのも楽しいですよ」

現在は同大大学院の1年生。研究も多忙を極める。しかし、そんな中でも続けている活動が、まちなかに新たなにぎわいをもたらしてくれそうだ。

■シェアハウスとは…
一つの住居を複数人で共有する形態のこと。

＊シェアハウスの補助には下記の３つがあります
再開発等推進団体助成補助金
中心市街地住宅転用促進事業補助金
学生等向け中心市街地居住促進事業補助金

赤城の恵ブランド

前橋市長100点満点之太鼓判 vol.10

前橋市推奨 赤城の恵ブランド認証品

にんじんジュース

空っ風の吹く赤城山麓の前橋で、生産者が妥協せず、手間を惜しまず作った「赤城の恵ブランド」の認証品。

今回は「にんじんジュース」を紹介します。

■夫婦で野菜作り

野菜ソムリエの資格を持つ長谷川さん夫妻が営む上細井町にある農園。ニンジン作りは給食用食材の依頼がきっかけで開始。ジュースの原材料として約30アールの畑で年間6トンを生産しています。

■「ひとみ五寸」を作付け

ジュースに使われるニンジンの品種は「ひとみ五寸」。育てるのが難しい品種ですが、柔らかく甘いのが特長で、ジュースなどの生食に良く合うと言われています。8月に種をまき、11月に収穫しています。

■おいしい召し上がり方

このジュースは甘さと酸味のバランスが良く、どんな料理にも合う飽きのこない味。ストレートに飲んでも良いし、デザートやドレッシング、スープの材料としても使えます。

■健康・栄養

ニンジンを100グラム使用しているため、ビタミンA（カロテン）やカリウムが手軽に摂取できます。特にカロテンは免疫力を高め、抗がん作用があります。

■量販店やイベントで好評発売中

自社の直売所で販売するほか、市内量販店や、市のイベントなどで販売。価格（税込み）は、180ミリリットルが380円、720ミリリットルが1,300円です。

■生産者からのメッセージ

ニンジンをもっと好きになってもらえるよう、今後も素材を生かしたジュースを作っていきたいと思っています。ぜひ、飲んでください。

問 長谷川農園☎027―231―5269

クローズアップ CLOSE UP

元気なかけ声が響く

4月13日、アーツ前橋・白川昌生展の関連イベント「駅家（うまや）の木馬祭り」を開催。子どもたちを乗せた木馬が、かけ声とともに中心商店街を練り歩きました。この日はT-1グランプリの結果発表も。「欧州料理ヴォレ・シーニュ」の「まえとん咖哩飯（かりーめし）」がグランプリに輝きました。

旅の出発はチューリップで

4月19日からJR前橋駅の発車メロディーが、本市出身の井上武士作曲の童謡「チューリップ」に変わりました。同日には記念セレモニーを開催。第三保育所の園児のチューリップ合唱、ころとんも参加しての出発式などが行われ、新たな魅力が加わった同駅の「出発」に花を添えました。

満開の桜の下で文化交流

4月12日、「春の足立と宮城の文化交流会」に参加した足立区民約250人が赤城南面千本桜を訪れました。それぞれの区市に「宮城」という地名があることが縁で、毎年この時季に交流会を開催。満開の桜並木を散策し、春のひとときを楽しみました。